

第17回日本乳癌学会関東地方会プログラム

教育セミナー

第1会場（5F 501）9:30~11:00

座長 松本 広志（埼玉県立がんセンター 乳腺外科）

ES1-1 診断

演者 菊池 真理（がん研究会有明病院 画像診断部）

ES1-2 治療

演者 麻賀 創太（杏林大学医学部 乳腺外科）

パネリスト

埼玉 貫井 麻未（埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科）

千葉 山本 寛人（千葉大学医学部附属病院 乳腺甲状腺外科）

茨城 河村千登星（筑波メディカルセンター病院 乳腺科）

栃木 豊田 知香（栃木県立がんセンター乳腺外科）

群馬 本田 周子（群馬大学 乳腺・内分泌外科）

新潟 遠藤麻巳子（新潟大学消化器・一般外科）

特別講演「コロナ感染症の現状と乳がん治療／検診の工夫」

第1会場（5F 501）11:00~12:00

座長 中村 清吾（昭和大学病院 乳腺外科）

齊藤 光江（順天堂大学 乳腺内分泌外科）

SP1-1 COVID-19流行下における乳がん診療

演者 下村 昭彦（国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科）

SP1-2 コロナ禍を通して考えた乳腺診療（外科業務）について

演者 北川 大（国立国際医療研究センター病院 乳腺内分泌外科）

SP1-3 新型コロナウイルス感染症

演者 大曲 貴夫（国立国際医療研究センター 国際感染症センター）

ランチョンセミナー1「最新のエビデンスから考える転移・再発TNBCの治療戦略」

第1会場(5F 501) 12:15~13:15

座長 明石 定子(昭和大学医学部 外科学講座 乳腺外科学部門 教授)

LS1-1 最新のエビデンスから考える転移・再発TNBCの治療戦略

演者 高橋 将人(国立病院機構 北海道がんセンター 副院長)

(共催:MSD株式会社)

グランドカンサーボード

第1会場(5F 501) 13:30~15:00

座長 井本 滋(杏林大学医学部附属病院 乳腺外科)

大野 真司(がん研究会有明病院 乳腺センター)

コメンテーター

津川浩一郎(聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科)

向井 博文(国立がん研究センター東病院 乳腺・腫瘍内科)

前田 一郎(北里大学北里研究所病院 病理診断科)

久保田一徳(獨協医科大学埼玉医療センター 放射線科)

GCB1 乳癌術後化学療法中のCOVID-19感染に対し、化学療法を完遂し得た一例

演者 堀口寿里安(国立病院機構東京医療センター 一般消化器外科)

GCB2 コロナワクチン接種を転機に急激な溶血性貧血で発症した乳癌骨髄癌腫症の1例

演者 松本 望(東京医科大学病院 乳腺科)

GCB3 乳房部分切除術のみで良好な経過を示した妊娠期乳癌の1例

演者 八木 美緒(日本医科大学附属病院 乳腺科)

GCB4 乳頭乳輪温存乳房全切除術後のインプラント周囲の被膜内漿液穿刺を契機に乳頭部再発の診断に至った一例

演者 堤 知佳(聖路加国際病院 乳腺外科)

GCB5 術後に遠隔転移再発を生じた非浸潤性乳管癌の2例

演者 濱岡 武(筑波大学附属病院 乳腺甲状腺内分泌外科)

GCB6 8年間肺転移巣CRを維持しているHER2陽性乳癌の一例

演者 杉山 瑠菜(聖マリアンナ医科大学 外科学 乳腺・内分泌外科)

厳選口演

第1会場(5F 501) 15:00~16:00

座長 飯島耕太郎(順天堂大学医学部附属順天堂医院 乳腺科)
清水千佳子(国立国際医療研究センター 乳腺腫瘍内科)

CS1 乳癌領域におけるCTとUS画像のフュージョン

演者 榊原 淳太(千葉大学 臓器制御外科学)

CS2 LigaSureを用いた乳癌手術法の報告

演者 山口 悟(ナグモクリニック名古屋)

CS3 CDK4/6阻害剤終了後、次治療としてのエリブリンの有効性

演者 柵木 晴妃(慶應義塾大学 医学部 外科学教室 一般・消化器)

CS4 ガンマナイフ治療を施行した乳癌脳転移患者における改訂版・乳癌DS-GPAの検証

演者 芹澤 徹(築地神経科クリニック 東京ガンマユニットセンター)

CS5 がん治療過程で顕在化するゲノム不安定性リスク(治療抵抗性と細胞遊走性)はオラパリブによって抑制される

演者 吉岡 研一(国立がん研究センター研究所 ゲノム安定性制御研究ユニット)

特別講演「細胞外小胞(エクソソーム)による乳がんの診断と治療」

第1会場(5F 501) 16:00~17:00

座長 太田 智彦(聖マリアンナ医科大学大学院医学研究科 応用分子腫瘍学)

SP2-1 細胞外小胞(エクソソーム)による乳がんの診断と治療

演者 落谷 孝広(東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門)

スポンサードセミナー1「ホルモン受容体陽性HER2陰性早期乳癌患者に対するOncotypeDXの意義」

第1会場(5F 501) 17:00~18:00

座長 井本 滋(杏林大学医学部 乳腺外科)

SS1-1 ホルモン受容体陽性HER2陰性早期乳癌患者に対するOncotypeDXの意義

演者 山内 英子(聖路加国際病院 乳腺外科)

(共催:エグザクトサイエンス株式会社/株式会社エスアールエル/H.U.フロンティア株式会社)

医療スタッフセミナー1 「乳がん患者の就労支援 ～私たちが目指す方向性は？～」

第2会場(4F 411+412) 9:30~11:00

座長 縄田 修一(昭和大学 薬学部 病院薬学講座)
縣 靖子(千葉大学医学部附属病院看護部)

MS1-1 治療と仕事の両立支援の「これまで」と「これから」
～制度の最新の動向を踏まえて～

演者 藤田 久子(ふじた社労士事務所)

MS1-2 乳がん患者の就労支援に医師としてできること、すべきこととは何か。

演者 垂野 香苗(昭和大学 乳腺外科)

MS1-3 企業における「がん就労支援」の取り組み(アフラックの事例より)

演者 佐柳みすず(アフラック生命保険株式会社 人事部 健康推進室長)

MS1-4 患者の立場からみた就労支援の現状と課題

演者 野田真由美(NPO法人支えあう会「a」 副理事長)

MS1-5 「あわてて仕事を辞めないで」そのひとことが治療と仕事の両立支援

演者 長谷川尚子(東京都立駒込病院 患者サポートセンター)

医療スタッフセミナー2 「頭皮冷却による脱毛予防 ー基礎知識から実践までー」

第2会場(4F 411+412) 11:00~12:00

座長 橋口 宏司(国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 薬剤科)
大椋 裕美(横浜労災病院 看護部)

MS2-1 頭皮冷却の基礎知識

演者 大椋 裕美(労働者健康安全機構 横浜労災病院 看護部)

MS2-2 Paxman Scalp Cooling®システム Orbisについて

演者 藤本美佳子(センチュリーメディカル株式会社 営業第4部MDマーケティングチーム)

MS2-3 頭皮冷却装置セルガード®について

演者 中島 雅司(株式会社 毛髪クリニック リーブ21 医療機器事業部)

MS2-4 当院における頭皮冷却装置の使用経験

演者 岡田 信子(国家公務員共済組合連合会 横浜栄共済病院 看護部)

ランチョンセミナー2「進行・再発乳癌治療におけるCDK4/6阻害剤の位置づけ—エビデンス、副作用、その後の治療—」

第2会場(4F 411+412) 12:15~13:15

座長 千島 隆司 (横浜労災病院 包括的乳癌先進医療センター長・乳癌外科 部長)

LS2-1 進行・再発乳癌治療におけるCDK4/6阻害剤の位置づけ—エビデンス、副作用、その後の治療—

演者 山下 年成 (神奈川県立がんセンター 乳癌内分泌外科 部長)

(共催：日本イーライリリー株式会社)

医療スタッフセミナー3「HBOC診療を含めたゲノム医療におけるチーム医療の課題」

第2会場(4F 411+412) 14:30~16:00

座長 森田 一 (聖マリアンナ医科大学病院)
渡邊 知映 (昭和大学保健医療学部)

MS3-1 HBOC診療の現状と課題

演者 垂野 香苗 (昭和大学 乳癌外科)

MS3-2 ゲノム医療時代の乳がん診療をより良くするための看護師の役割と機能

演者 大川 恵 (聖路加国際病院 看護部)

MS3-3 乳がん診療における遺伝子パネル検査の適応と課題

演者 下村 昭彦 (国立国際医療研究センター病院 乳癌・腫瘍内科)

MS3-4 HBOC診療を含めたゲノム医療におけるチーム医療-CRCの役割

演者 山崎 真澄 (がん研有明病院 ゲノム診療部(本務) 先端医療開発センター(兼務))

スポンサーセミナー2「ER陽性HER2陰性転移再発乳癌におけるフルベストラントの役割」

第2会場(4F 411+412) 16:00~17:00

座長 上野 貴之 (がん研有明病院 乳癌外科 部長)

SS2-1 ER陽性HER2陰性転移再発乳癌におけるフルベストラントの役割

演者 小泉 圭 (浜松医科大学 医学部附属病院 乳癌外科 助教)

(共催：アストラゼネカ株式会社)

医療スタッフセミナー4「コロナ禍におけるACPについて考える」

第2会場(4F 411+412) 17:00~18:00

座長 金井 久子(聖路加国際病院 看護部プレストセンター)
大椋 裕美(横浜労災病院 看護部)

MS4-1 コロナ禍におけるACPにおいて医療者ができること、多職種に期待すること

演者 片岡 明美(がん研究会有明病院 乳腺センター乳腺外科、トータル
ケアセンター医療連携部地域連携室)

MS4-2 コロナ禍におけるACPの現状と看護師の役割—相良病院外来での取り組み—

演者 平松 明子(社会医療法人博愛会相良病院 看護部)

一般演題A「再建・手術・合併症」

第3会場(4F 413) 11:00~11:55

座長 土井 卓子(湘南記念病院 かまくら乳がんセンター)
平野 明(東京女子医科大学東医療センター 乳腺診療部)

A-1 Paget病に対して乳輪乳頭を含む乳房部分切除を行い、欠損部に対して皮弁再建を行った1例

演者 山田 英幸(千葉大学 医学部附属病院 臓器制御外科学 乳腺甲状腺外科)

A-2 両側豊胸術後に発生した片側性乳癌に対し皮下乳腺全摘及びインプラント入替術を施行した高齢女性の一例

演者 飯田 瑞希(社会福祉法人三井記念病院 乳腺内分泌外科)

A-3 乳房再建術後に再建乳房に壊疽性膿皮症を発症した1例

演者 久保 和之(埼玉県立がんセンター 乳腺外科/埼玉県立がんセンター 形成外科)

A-4 シリコンバック破損により発症したヒトアジュバント病の1例

演者 斉藤 良太(厚木市立病院 外科)

A-5 血小板無力症を基礎疾患に有する乳癌手術の一例

演者 沼田亜希子(聖路加国際病院乳腺外科)

A-6 乳房部分切除後に生じた乳糜漏の1例

演者 安川 美緒(神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科)

A-7 乳房部分切除後に発生した慢性拡張性血腫の一例

演者 松原 由佳(横浜市立大学 外科治療学/神奈川県立がんセンター 乳腺内分泌外科)

ランチョンセミナー3 「Palbociclibの登場によりmBC治療は変わったのか？」

第3会場(4F 413) 12:15~13:15

座長 鈴木 育宏 (東海大学医学部附属八王子病院 乳腺・内分泌外科 教授)

LS3-1 Palbociclibの登場によりmBC治療は変わったのか？

演者 増田 紘子 (昭和大学医学部外科学講座 乳腺外科学)

(共催：ファイザー株式会社)

スポンサーセミナー3 「転移性TNBC新時代 —最初の一手は？—

第3会場(4F 413) 14:30~15:30

座長 石川 孝 (東京医科大学 乳腺科学分野 主任教授)

SS3-1 転移性TNBC新時代 —最初の一手は？—

演者 有賀 智之 (がん・感染症センター都立駒込病院 外科(乳腺)・遺伝子診療科 医長)

(共催：中外製薬株式会社)

スポンサーセミナー4 「HER2陽性乳癌治療の現在と最新の話題」

第3会場(4F 413) 15:45~16:45

座長 長内 孝之 (総合病院 土浦協同病院乳腺外科 部長)

SS4-1 HER2陽性乳癌治療の現在と最新の話題

演者 川端 英孝 (国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 乳腺内分泌外科 部長)

(共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社)

一般演題B 「コロナ感染症関連・患者支援」

第3会場(4F 413) 16:45~17:40

座長 向井 博文 (国立がん研究センター東病院 乳腺・腫瘍内科)
岡本 康 (東邦大学医療センター大橋病院 外科)

B-1 新型コロナウイルス(COVID-19)ワクチン接種における腋窩リンパ節腫大の3例

演者 佐野 文俊 (ナグモクリニック 東京)

- B-2 SARS-CoV-2ワクチン接種後の腋窩リンパ節腫大を契機に検診発見された非浸潤性乳管癌の1例
演者 清水祐太郎（群馬大学 大学院医学系研究科 総合外科学講座）
- B-3 SARS-CoV陽性となった転移再発乳癌患者に対する化学療法継続の当施設の工夫
演者 中西 洋（東京慈恵会医科大学附属第三病院 外科）
- B-4 癌性胸膜炎治療中にCOVID-19感染による重症肺炎を合併したがステロイドパルス療法で救命し得た1例
演者 神保ひかり（順天堂大学 乳腺腫瘍学講座）
- B-5 Weekly paclitaxel投与時の頭皮冷却療法により脱毛予防効果の得られた1例
演者 笹岡 綾子（独立行政法人国立病院機構東京医療センター 看護部）
- B-6 周術期化学療法を受ける乳癌患者に対する頭皮冷却装置導入の経験
演者 西川 文（虎の門病院 乳腺内分泌外科）
- B-7 医療補助色素形成（パラメディカルピグメンテーション）を用いたアピアランスケア
演者 堀口 和美（アピアランスビューティクリニック）

一般演題C「乳癌（非浸潤癌）」

第4会場（4F 414）11:00～11:55

座長 小山 徹也（群馬大学大学院附属病院病理診断科）
黒井 克昌（荏原病院 外科）

- C-1 診断に苦慮した嚢胞内乳癌の1例
演者 神田なつき（TMG 新座志木中央総合病院 臨床検査科）
- C-2 Encapsulated papillary carcinomaの1例
演者 伊藤謙太郎（JCHO東京山手メディカルセンター 外科）
- C-3 当院で診断されたEncapsulated papillary carcinomaの8例
演者 須藤 友奈（横浜市立みなと赤十字病院 乳腺外科）
- C-4 術前診断に苦慮した巨大嚢胞性乳腺腫瘍3例の経験
演者 中目 絢子（埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科）
- C-5 最終診断が乳癌であった14Kgを超える巨大乳腺腫瘍の1例
演者 生魚 史子（結核予防会 複十字病院 乳腺科）
- C-6 腫瘍マーカー高値を示した非浸潤性乳管癌の1例
演者 荻野 美里（群馬大学 医学部附属病院 乳腺内分泌外科）

C-7 EGFR阻害薬が奏効した非浸潤性乳管癌と肺癌の重複癌の一例

演者 佐藤 綾奈 (帝京大学 医学部 外科)

ランチョンセミナー4「抗HER2療法はどこからきてどこへ行くのか？」

第4会場 (4F 414) 12:15~13:15

座長 中川 剛士 (東京医科歯科大学)

LS4-1 抗HER2療法はどこからきてどこへ行くのか？

演者 有賀 智之 (がん・感染症センター 都立駒込病院 外科 (乳腺)・
遺伝子診療科)

(共催：日本化薬株式会社)

一般演題D「炎症性疾患・乳腺良性腫瘍 (上皮性)」

第4会場 (4F 414) 13:30~14:30

座長 堀井 理絵 (埼玉県立がんセンター 病理診断科)

小島 誠人 (獨協医科大学埼玉医療センター 乳腺センター)

D-1 乳腺後隙脂肪と大胸筋から、腋窩を介して上腕まで穿波した広範なTropical Pyomyositis
と考えられる1例

演者 嶋田 和博 (茅ヶ崎市立病院 乳腺外科)

D-2 乳癌の術後創部に発症した肉芽腫性乳腺炎の1例

演者 山根 沙英 (独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 乳腺外
科)

D-3 演題取り下げ

D-4 若年性乳頭腫症の一例

演者 竹原 侑里 (聖路加国際病院 乳腺外科)

D-5 乳房および同側腋窩に同時発生した乳管内乳頭腫の1例

演者 吉川 三緒 (栃木医療センター 外科)

D-6 鑑別に苦慮した乳頭腫を有する2例の報告

演者 矢野 央子 (昭和大学 医学部 外科学講座 乳腺外科学部門)

D-7 診断に苦慮した乳管腺腫の1例

演者 前田日菜子 (北里大学 北里研究所病院 乳腺・甲状腺外科)

D-8 閉経後に局所再発した乳腺管状腺腫の1例

演者 栗原亜梨沙（横浜栄共済病院 乳腺甲状腺外科）

一般演題E「乳腺良性腫瘍（その他）」

第4会場（4F 414）14:30～15:30

座長 大迫 智（公益財団法人 がん研究会 がん研究所 病理部）

櫻井 健一（日本歯科大学附属病院 乳腺内分泌外科 乳腺内分泌外科学）

E-1 12歳女兒に発生した若年性線維腺腫の1例

演者 小林 光希（日本医科大学 付属病院 乳腺科）

E-2 平滑筋への分化を伴った葉状腫瘍の1例

演者 井上 栞（横浜労災病院 乳腺外科）

E-3 巨大乳腺過誤腫の一例

演者 麻 由夏（順天堂大学医学部附属順天堂医院）

E-4 両側同時性に急速増大した乳腺良性腫瘍の一例

演者 田村 美樹（日本医科大学付属病院 乳腺科）

E-5 9cmに増大した乳腺偽血管腫様過形成（PASH）の一例

演者 豊田 知香（栃木県立がんセンター 乳腺外科）

E-6 乳腺偽血管腫様過形成の1例

演者 安達 佳世（東京医科大学八王子医療センター 乳腺科）

E-7 術後病理で診断に至った乳房サルコイドーシスの1例

演者 内田 遥（新潟市民病院／新潟大学大学院 医歯学総合研究科 消化器・乳腺内分泌外科学分野）

E-8 サルコイドーシスに伴う腋窩リンパ節腫大を合併した非浸潤性乳管癌の一例

演者 和栗 真愛（日立総合病院 乳腺甲状腺外科）

一般演題F「遺伝性乳癌（診断・その他）」

第4会場（4F 414）15:45～16:40

座長 井上 賢一（埼玉県立がんセンター 乳腺腫瘍内科）

緒方 秀昭（東邦大学医療センター大森病院 乳腺内分泌外科）

F-1 当院で経験した神経線維腫症1型に合併した乳癌症例の検討

演者 石川結美子（慶應義塾大学 医学部 一般・消化器外科）

- F-2 神経線維腫症1型に乳癌を合併した2症例
 演者 吉田 瑞穂（筑波大学附属病院 乳腺甲状腺内分泌外科）
- F-3 異時性子宮体癌・膵癌を発症したBRCA2-病的バリエーション陽性乳癌の1例
 演者 押 正徳（横浜市立大学附属病院 乳腺外科）
- F-4 遺伝性乳癌卵巣癌症候群の姉妹が同時期に乳癌を発症した1例
 演者 山本 寛人（千葉大学医学部附属病院 乳腺甲状腺外科）
- F-5 複合的画像診断にて対側乳癌を早期に検出診断し得たBRCA2病的バリエーション陽性乳癌の一例
 演者 佐藤 史哉（聖路加国際病院 乳腺外科）
- F-6 予防的乳房切除において切除検体撮影が病変検出に有効であった一例
 演者 中小路絢子（東京医療センター 乳腺外科）
- F-7 当院における遺伝性乳癌卵巣癌症候群(HBOC)に対する取り組み
 演者 金田 陽子（東京労災病院 乳腺外科／昭和大学医学部 乳腺外科）

一般演題G「遺伝性乳癌（再発治療）」

第4会場（4F 414）16:45～17:25

座長 榎本 克久（日本大学医学部附属板橋病院 乳腺内分泌外科）
 鶴谷 純司（昭和大学 先端がん治療研究所、医学部腫瘍内科）

- G-1 Olaparib投与によりADLの改善が見られた再発乳癌の1例
 演者 印南 優衣（東京医科歯科大学 医学部附属病院 乳腺外科）
- G-2 5次治療としてオラパリブ使用し長期病勢安定を得られた1例
 演者 村上 剛之（茅ヶ崎市立病院 乳腺外科）
- G-3 長期経過をとったBRCA1陽性の転移乳癌の1例
 演者 山本 麻子（東京医科大学病院 乳腺科）
- G-4 乳癌癌性髄膜炎による全盲に対しOlaparibを含む集学的治療が有効であった一例
 演者 鹿内 彩菜（順天堂大学 医学部 乳腺腫瘍学講座）
- G-5 術後10年目BRCA2陽性乳癌再発患者のオラパリブ著効例（術後続発性原発肝門部胆管癌Stage IVも化療後CR）
 演者 島影 尚弘（長岡赤十字病院 外科）

一般演題H「悪性腫瘍（その他）」

第5会場（4F 415）11:00～12:00

座長 前田 一郎（北里大学北里研究所病院 病理診断科）
川瀬 和美（東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 外科）

H-1 片側乳房内に多発病変を認めたALK陽性組織球症の一例

演者 栗田安里沙（国立研究開発法人 国立がん研究センター 中央病院
乳腺外科）

H-2 悪性葉状腫瘍の診断となった急速増大を認めた乳房腫瘍の一例

演者 奥田 尚子（平塚共済病院 外科）

H-3 一期的に根治術を行った巨大悪性葉状腫瘍の1例

演者 手塚日向子（東京医療センター 乳腺外科）

H-4 一期的に完全切除し得た肺転移を伴う巨大乳房悪性葉状腫瘍(5.7kg)の1例

演者 柴田 章雄（国家公務員共済連合組合 虎の門病院 プレストセン
ター）

H-5 対側乳癌に合併した乳房悪性末梢神経鞘腫の一例

演者 田中玲於奈（済生会横浜市南部病院 外科）

H-6 線維腺腫から発生した乳腺原発骨外性骨肉腫の1例

演者 原田 郁（横浜労災病院 乳腺外科）

H-7 乳腺原発悪性リンパ腫と対側乳癌を認めた一例

演者 中村 暁（がん研究会有明病院 乳腺外科）

H-8 葉状腫瘍を疑い乳房切除を必要とした巨大乳房悪性リンパ腫の1例

演者 関 友里菜（さいたま赤十字病院 乳腺外科）

ランチョンセミナー5「HER2陽性MBCに対するエンハーツの位置付けとマネジメント」

第5会場（4F 415）12:15～13:15

座長 池田 達彦（帝京大学医学部 外科学講座）

LS5-1 HER2陽性MBCに対するエンハーツの位置付けとマネジメント

演者 尾崎由記範（がん研有明病院 乳腺センター 乳腺内科）

（共催：第一三株式会社）

一般演題I「乳癌（特殊型・その他）」

第5会場（4F 415）13:30～14:30

座長 坂谷 貴司（日本医科大学付属病院 病理診断科）
首藤 昭彦（国立がん研究センター 中央病院 乳腺外科）

- I-1 真皮内浸潤を伴った乳房Paget病の一例
演者 植木 優子（順天堂大学医学部附属練馬病院 乳腺外科）
- I-2 乳腺原発腺様嚢胞癌の1例
演者 田邊 蓉子（東京歯科大学市川総合病院 外科）
- I-3 乳房痛を契機に診断された乳腺原発腺様嚢胞癌の1例
演者 鈴木 千穂（横須賀共済病院 乳腺センター）
- I-4 妊娠期に発生した唾液腺類似乳癌の一例
演者 黒澤多英子（埼玉医科大学国際医療センター 乳腺腫瘍科）
- I-5 演題取り下げ
- I-6 術前化学療法が奏功した乳房原発大細胞型神経内分泌癌の1例
演者 柴田侑華子（横浜労災病院 乳腺外科）
- I-7 術前化学療法が著効した粘液癌の一例
演者 山田 都（聖マリアンナ医科大学病院 乳腺内分泌外科）
- I-8 術前ホルモン療法中に急速増大したIMPCaの一例
演者 山川 珠実（日本医科大学付属病院 乳腺科）

一般演題J「乳癌（稀な病態）・2次がん」

第5会場（4F 415）14:30～15:40

座長 本間 尚子（東邦大学医学部 病理学講座）
林 光弘（獨協医科大学乳腺センター）

- J-1 乳腺線維腺腫内に小葉癌を認めた一例
演者 荻窪まどか（平塚共済病院 外科）
- J-2 葉状腫瘍の術後に出現した線維腺腫内に浸潤性乳管癌を認めた一例
演者 清水亜希子（横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺甲状腺外科）

J-3 潜在性乳癌の一例

演者 町永 幹月（茨城県立中央病院茨城県地域がんセンター 乳腺外科）

J-4 当院で経験した潜在性乳癌の2症例

演者 梨本 実花（亀田総合病院 乳腺科）

J-5 対側腋窩リンパ節に乳癌の転移を認めた異時性一側多発癌の2例

演者 内海ほたる（日本医科大学 武蔵小杉病院 乳腺外科）

J-6 乳癌術後ホルモン療法施行中に、対側に発生したホルモン受容体陽性乳癌の1例

演者 村尾 有香（日本赤十字社医療センター）

J-7 乳房部分切除術後の同側腋窩に発生し、放射線誘発性二次がんが疑われた軟部肉腫の1例

演者 戸塚 勝理（埼玉県立がんセンター 乳腺外科）

J-8 乳房温存術後の放射線治療および豊胸後に発生した乳房血管肉腫の一例

演者 近藤 怜子（聖路加国際病院 乳腺外科）

J-9 放射線誘発性血管肉腫術後に局所再発をきたした一例

演者 石塚由美子（順天堂大学 医学部 乳腺腫瘍学）

一般演題K「局所治療・画像診断」

第5会場（4F 415）15:45～16:40

座長 白石憲史郎（帝京大学医学部 放射線科）

藤井 孝明（群馬大学 総合外科学 乳腺・内分泌外科）

K-1 経カテーテル動脈塞栓術（TAE）を含む集学的治療により著明な腫瘍縮小を得た進行乳癌の1例

演者 小谷依里奈（慶應義塾大学 外科学教室 一般・消化器外科）

K-2 術前内分泌療法および放射線治療により局所制御を得た進行乳癌の一例

演者 島 正太郎（国立病院機構 霞ヶ浦医療センター 外科）

K-3 脳室-腹腔シャント経路に生じた局所進行乳癌の一切除例

演者 渡邊 真（医療法人社団 誠馨会 新東京病院 乳腺外科）

K-4 易出血性の進行乳がん自壊部に対しMohs'ペーストにより止血を得られた一例

演者 林 優花（茨城県立中央病院 乳腺外科）

K-5 Excelを使ったマンモグラフィ模擬試験の解答ファイルの制作の試み

演者 服部 裕昭（国家公務員共済組合連合会 立川病院 乳腺外科）

K-6 当院における乳房Paget病の検討：MRI所見と病理組織学的所見の比較

演者 羽尾 千咲（亀田総合病院 乳腺科）

K-7 トモシンセシスを応用したステレオガイド下吸引式組織生検

演者 橋本 昌幸（赤心堂病院）

一般演題L「治療関連疾患・併存症」

第5会場（4F 415）16:45～17:40

座長 小林 心（がん研究会有明病院 乳腺内科）

安藤 二郎（栃木県立がんセンター 乳腺外科）

L-1 IgG関連疾患合併乳腺小葉癌の1例

演者 原 由起子（日本大学 医学部 乳腺内分泌外科）

L-2 術前化学療法中に神経ペーチェットを発症した乳癌患者の一例

演者 山田 凜々（埼玉メディカルセンター 乳腺外科）

L-3 化学療法中に間質性肺炎と高CK血症を併発し治療方針決定に苦慮した転移性乳癌の1例

演者 本間 恵（八潮中央総合病院 外科）

L-4 乳癌術後ddAC療法中にニューモシスチス肺炎を発症した1例

演者 平方 智子（埼玉県立がんセンター 乳腺外科）

L-5 ペグフィルグラスチムによる薬剤性大動脈炎の一例

演者 角谷 芽依（横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺甲状腺外科）

L-6 Pegfilgrastim投与後に大動脈炎を発症した2例

演者 川島 圭（藤沢市民病院 乳腺外科）

L-7 演題取り下げ

一般演題M「男性乳腺腫瘍」

第6会場（4F 416）11:00～12:00

座長 津田 均（防衛医科大学校医学教育部 病態病理学講座）

川端 英孝（虎の門病院 乳腺内分泌外科）

M-1 演題取り下げ

M-2 非常に稀な男性乳腺血管腫の1例

演者 島田 雅之 (昭和大学病院 乳腺外科)

M-3 男性乳房に発生した孤立性線維性腫瘍の一例

演者 川口 駿 (虎の門病院 プレストセンター)

M-4 乳頭部に限局した男性乳癌の1例

演者 太田 郁子 (国立病院機構 横浜医療センター 外科)

M-5 乳輪下嚢胞性腫瘍を呈した男性非浸潤性乳管癌の1例

演者 久保田光博 (山近記念総合病院 外科)

M-6 末梢乳腺に発生した男性乳癌の一例

演者 菅原 未来 (茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 乳腺外科)

M-7 術後早期に腋窩再発を来した男性粘液癌の一例

演者 前田 祐佳 (帝京大学医学部附属病院 乳腺外科)

M-8 当院における男性乳癌6症例の検討

演者 松本 築 (亀田総合病院 乳腺科)

ランチョンセミナー6「チーム医療」

第6会場(4F 416) 12:15~13:15

座長 坂東 裕子 (筑波大学附属病院 乳腺・甲状腺・内分泌外科)

LS6-1 《チーム医療における看護師の立場としての関わり

—抗がん剤治療を受ける乳がん患者へのアプローチを中心に—

演者 横枕 令子 (埼玉県立がんセンター 看護部 乳がん看護認定看護師)

LS6-2 乳癌診療のいまと、目指すべきチーム医療の姿とは

演者 田村 宜子 (虎の門病院 プレストセンター)

(共催：ノバルティスファーマ株式会社)

一般演題N「進行・再発治療(抗HER2療法)」

第6会場(4F 416) 13:30~14:30

座長 永井 成勲 (埼玉県立がんセンター 乳腺腫瘍内科)

大崎 昭彦 (埼玉医科大学 国際医療センター 乳腺腫瘍科)

N-1 有害事象により術前HPD療法を1コースで中止も浸潤巣の消失を得たER陰性HER2陽性高齢者Stagell乳癌の1例

演者 大地 哲也 (横浜新緑総合病院 外科・乳腺外科)

- N-2 長期生存が得られた G-CSF および PTHrP 産生乳癌の1例
 演者 周山 理紗 (株式会社日立製作所 日立総合病院 乳腺甲状腺外科)
- N-3 集学的治療後に長期 CR を維持している進行度4期 HER2陽性炎症性乳癌の一例
 演者 北原美由紀 (茨城県立中央病院茨城県地域がんセンター 乳腺外科)
- N-4 胸骨骨髓生検が有用だった乳癌骨転移の診断に難渋した一例
 演者 福田みづき (東京慈恵会医科大学附属第三病院 外科/東京慈恵会医科大学附属病院 乳腺・内分泌外科)
- N-5 抗HER2療法による治療効果が乏しかったHER2陽性転移乳癌の一例
 演者 伊藤可奈子 (国立国際医療研究センター病院 乳腺内分泌外科)
- N-6 新規ADC トラスツズマブデルクステカンの脳転移症例における有用性
 演者 酒井 瞳 (昭和大学 先端がん治療研究所)
- N-7 トラスツズマブデルクステカンが有効であったステージ4局所進行乳癌の1例
 演者 松澤 円佳 (順天堂大学医学部附属浦安病院 乳腺・内分泌外科)
- N-8 trastuzumab deruxtecan 投与中, 頸部リンパ節縮小に伴う血管破綻により出血死した一例
 演者 篠田 司 (がん・感染症センター都立駒込病院 外科 (乳腺))

一般演題○「進行・再発治療 (早期/晩期再発・治療効果)」

第6会場 (4F 416) 14:30~15:40

- 座長 原 文堅 (公益財団法人がん研究会有明病院 乳腺内科)
 大地 哲也 (横浜新緑総合病院 外科・乳腺外科)
- O-1 術後26年目に骨転移をきたした乳癌晩期再発の1例
 演者 矢内 恵子 (群馬県立がんセンター 乳腺科)
- O-2 術後42年で肺転移を起こした乳癌の1例
 演者 竹前 大 (栃木県立がんセンター 乳腺外科)
- O-3 フォローアップ中に急速増大・進行を認めた紡錘細胞癌の一例
 演者 粕谷 雅晴 (国立病院機構 千葉医療センター 乳腺外科)
- O-4 急速な経過を辿った高齢者 malignant spindle cell tumor の一例
 演者 松本 貴恵 (河北総合病院 乳腺外科)
- O-5 Metaplastic Carcinoma に対して nab-Paclitaxel 療法が著効した1例
 演者 荒井 学 (埼玉医科大学総合医療センター ブレストケア科)

O-6 原発巣ではtriple negativeであったが、再発後にLuminal typeとなり長期生存している一例

演者 小池 瑛 (自治医科大学病院 消化器一般移植外科)

O-7 術前薬物療法でpCR得られたが、術後早期に脳転移が出現し死亡したTRN乳がんの一例

演者 福内 敦 (東京品川病院 乳腺甲状腺外科)

O-8 頭痛を契機に脳転移の診断に至ったOligometastatic Breast Cancer長期生存の一例

演者 垣本紗代子 (聖マリアンナ医科大学 乳腺・内分泌外科)

O-9 局所pCR、全身cCR後の全身治療を考えさせられた転移再発乳癌の一例

演者 武田 泰隆 ((公財)結核予防会 複十字病院 乳腺センター)

一般演題P「進行・再発治療(稀な臓器転移)」

第6会場(4F 416) 15:45~16:40

座長 海瀬 博史 (東京医科大学茨城医療センター 乳腺科)

吉田 正行 (国立がん研究センター中央病院 病理科・臨床検査科)

P-1 転移巣にてHER2陽転化を生じた乳癌甲状腺転移の1例

演者 岩瀬 美紀 (聖マリアンナ医科大学病院 乳腺・内分泌外科)

P-2 心窩部痛精査でみつかった、乳癌胃転移の1例

演者 徳田 尚子 (高崎総合医療センター 乳腺・内分泌外科)

P-3 腸閉塞を契機に発見されたHER2陽性乳癌小腸転移の1例

演者 柳下 陽香 (慶應義塾大学医学部外科学教室 一般・消化器外科)

P-4 乳癌肝門部リンパ節転移再発の1例

演者 長田 拓哉 (東邦大学医療センター大橋病院)

P-5 子宮原発癌との鑑別を要した乳癌術後子宮内膜転移の一例

演者 岡野 健介 (がん研究所有明病院 乳腺外科)

P-6 乳癌・膀胱転移の一例

演者 佐久間 結 (成田赤十字病院)

P-7 乳癌領域リンパ節転移と鑑別を要した卵巣癌の一例

演者 笹本真覇人 (横浜市立市民病院 乳腺外科)

一般演題Q「進行・再発治療（化学療法・CDK4/6阻害剤）」

第6会場（4F 416）16:45～17:25

座長 下井 辰徳（国立がん研究センター中央病院 腫瘍内科）
山田 顕光（横浜市立大学 消化器・腫瘍外科）

Q-1 当科においてエリブリンリチャレンジを行った15例におけるリンパ球絶対数（ALC）と予後の検討

演者 田村 光（那須赤十字病院 外科）

Q-2 Life threateningな肝転移に導入化学療法→内分泌＋CDK4/6阻害薬療法が奏効したStage IV乳癌の1例

演者 高井 健（埼玉県立がんセンター 乳腺腫瘍内科）

Q-3 化学療法後CDK4/6阻害薬＋内分泌治療が有効だった3例についての検討

演者 樋口 徹（さいたま赤十字病院 乳腺外科）

Q-4 CDK4/6阻害剤併用内分泌療法中に肺塞栓症をきたしたホルモン受容体陽性転移乳癌の1例

演者 永田 彩（昭和大学江東豊洲病院 乳腺外科）

Q-5 当院におけるpalbociclibの使用経験

演者 田澤 篤（江戸川病院 乳腺外科）